

ウエルブ六甲道5番街1番館 B1系統の排気ダクト内通気障害改善について

株式会社JEM

5月26日、B1ダクトスペース内の排気ダクトの一部を解体し、内部の確認と試運転を行った。

- ①解体部分からの排気とファンの正常運転を確認した。
- ②解体部分から消音器を確認し、消音器部分での閉塞がないことを確認した。【写真1】
- ③消音器以降は、3Fにてダクトから換気ガラリ室につながっており、換気ガラリ室の
ダクト排気口に金網が取り付けてあり、塵芥が堆積して完全閉塞していた。【写真2】
- ④排気は、換気ガラリ室内に設置された換気ガラリより外部に排出される。
換気ガラリの室内側には網が設置されており、排気口に2重に網を設置することは不要で、
網を再設置すればいずれ閉塞リスクがあるので、網を取り外した。（換気ガラリ室に残置）
- ⑤**網を取り外して運転を行い、正常に排気**することを確認した。【写真3、4】



【写真1】 B1ダクト一部解体により消音器部分を観察
消音器のサイズは3m × 1.5m × 1.3m
写真で光って見える部分（約20cm幅）は消音器
黒く見える部分（約50cm幅）は空洞で障害無し



【写真2】 換気ダクト口の金網と塵芥状況
金網の目は1cm程度で塵芥により完全閉塞している
部分的に削り落とし、足元は削った塵芥

換気ガラリ側にも網があり、防虫の必要性はないと
判断して、網を取り外して運転した。



【写真3】 排気ファン試運転
電流値34A ($34A \times 200V \times 1.7 = 11.5kw$) で、
11kwの定格運転であることを確認。
(通気障害時は排気が逆流し、電流15A程度)
試運転後、自動運転設定 (AM7~9時運転)



【写真2】 排気ファン試運転
トートバックがファンに吸い込まれている状況
正常に排気運転している

上記の通りで、排気ダクト内の通気障害は解消しました。

以上